

高まる不安 その2

どんな対策をとればいい？ 親の老いには漠然とした不安だらけ

アラフィフにとって避けられない2つ目の大きな悩み“親の老い”。特に既婚女性にとっては、自身の親と夫の親、マックス4人の心配が覆いかぶさってくる。

自分の母親が最も心配だが 50代前半になると、義母の心配も

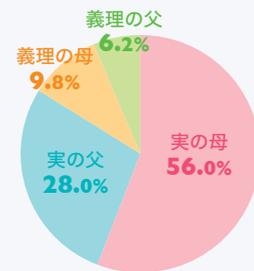
アラフィフ女性193人に、「最も心配している親」の、身体・健康、暮らし、親のお金・資産の3つについて調査した。

最も心配している親は「実の母」がトップで56.0%（グラフ1）。これは、母娘の関係の近さと、父親のことは母親が面倒を見てくれるという安心感からだろう。ただし男親の方が先に亡くなることが多いこともあり、50代前半になると「義理の母」の心配も増えてくる。

40代後半では心配な親の年齢は70代、50代前半では80代（グラフ2）。親が何歳ころから心配になってきたかは、70歳、75歳、80歳と5歳刻みでピークがくる（グラフ3）。

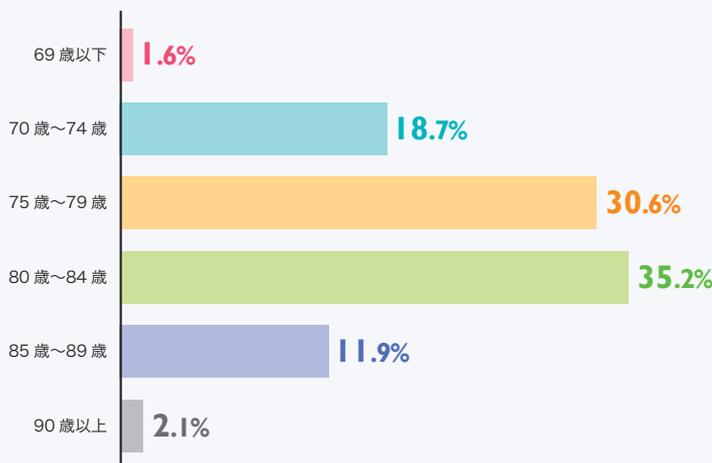
親の暮らし方では、「伴侶が亡くなり一人暮らし」が50代前半になると増える傾向にあり、より心配も増してくる（グラフ4）。

最も心配している親との関係（グラフ1）



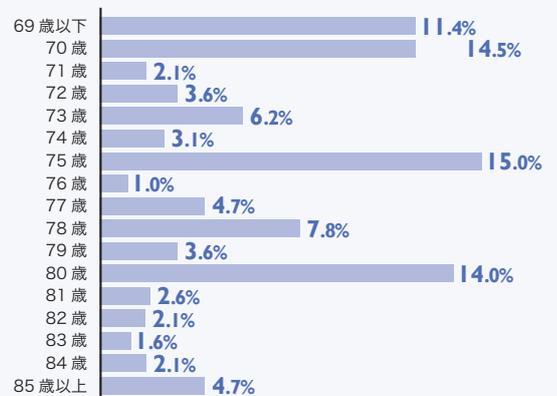
	実の母	実の父	義理の母	義理の父
全体 (193n)	56.0	28.0	9.8	6.2
45-49歳 (101n)	59.4	27.7	7.9	5.0
50-54歳 (92n)	52.2	28.3	12.0	7.6

最も心配している親の年齢（グラフ2）

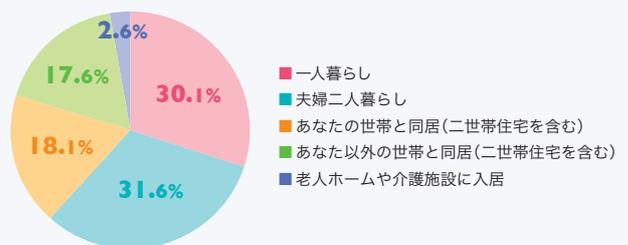


	69歳以下	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳以上
全体 (193n)	1.6	18.7	30.6	35.2	11.9	2.1
45-49歳 (101n)	3.0	31.7	33.7	23.8	7.0	1.0
50-54歳 (92n)	0.0	4.4	27.2	47.9	17.3	2.2

親が何歳のころから心配になってきたか（グラフ3）



最も心配している親の暮らし方（グラフ4）



	一人暮らし	夫婦二人暮らし	あなたの世帯と同居 (二世帯住宅を含む)	あなた以外の世帯と同居 (二世帯住宅を含む)	老人ホームや介護施設に入居
全体 (193n)	30.1	31.6	18.1	17.6	2.6
45-49歳 (101n)	26.7	40.6	19.8	10.9	2.0
50-54歳 (92n)	33.7	21.7	16.3	25.0	3.3

【調査概要】

調査期間 2015年10月1日～5日

調査対象 リビング新聞公式 Web サイト「リビング Web」で Web アンケート

集計数 45歳～54歳女性193人

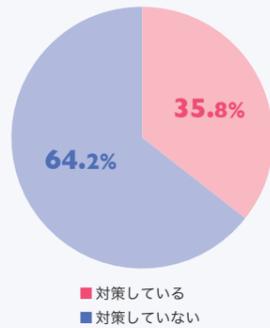
※各データは小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100%にならないことがある

身体・健康の心配

今はまだ大丈夫だけど、この先不安でいっぱい 対策方法がわからないが46.8%

親の身体・健康についての心配事は、「体力・足腰の衰え」「物忘れ」「認知症」がトップ3だが、それに対して何らかの対策をしているのは35.8%。対策をしていない6割以上の人にその理由を聞くと、「どんな対策をとればいいのかわからない」が46.8%と半数近い。特に認知症について、「今はまだ大丈夫だがいずれは…」という不安を訴える声フリーアンサーでもかなり多く見られた。いざそうなったときの、対処方法、仕事と介護の両立、施設の状況など不安要素は多々あるが、心のどこかで先送りしたいという意識も垣間見える。

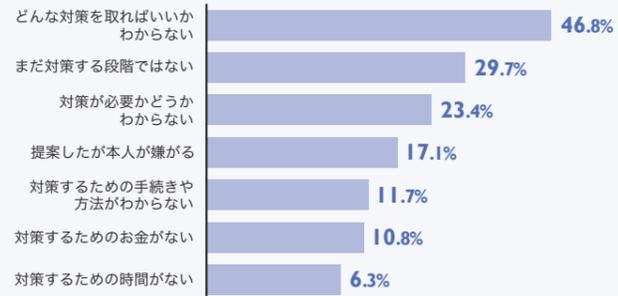
親の身体・健康の心配について、対策の有無



親の身体・健康で心配なこと 上位7項目 (複数回答)



対策をしていない理由 (複数回答 n=111)

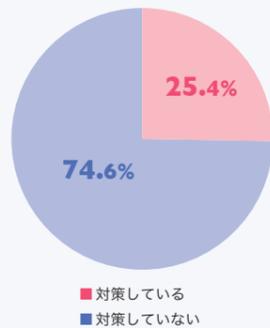


暮らしの心配

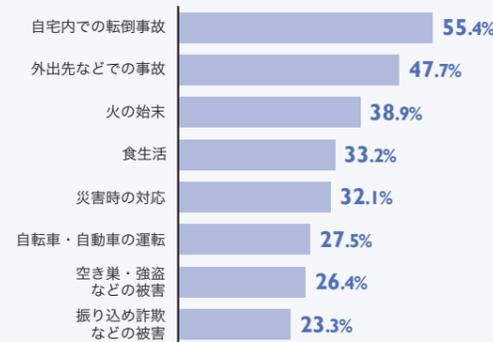
転倒など事故への心配が半数超だが 対策を講じているのは4分の1

親の暮らしでは、「自宅内や外出先での転倒事故」が心配の上位。親の年代があがる50代前半では、「火の始末」「家が汚い・片付かない」を挙げる人も増えてくる。心配はしているものの、身体・健康以上に、対策をしている人は少なく25.4%にとどまっており、内容として「住宅のバリアフリー化」「住宅内に手すりを付ける」を挙げる人が多い。対策をしていない理由としては、やはり「どんな対策をとればいいのかわからない」が39.1%とトップだが、「対策する段階ではない」も28.9%と「まだ、大丈夫」という思いが強いようだ。

親の暮らしの心配について、対策の有無



親の暮らしで心配なこと 上位8項目 (複数回答)



対策をしていない理由 (複数回答 n=128)



お金・資産の心配

資産状況を確認できていない、42.0% 資産・重要書類管理は、まだ大丈夫?

身体・健康、暮らしに比べ、「心配していない」が多いのが、親のお金・資産のこと。ある程度、年金がもらえる世代ということもあるのだろう。とはいえ、生活や介護・病気治療などの資金不足を心配する声は3割超、家・家財の管理、処分の心配は3割弱。お金・資産のことは具体的に話し合いにくいことだけに、心配事について対策をしている人は10%台と、最も低くなっている。

「資産や貯金の状況を確認したいが、まだできていない」は42.0%と半数近い。身体・健康面で認知症発症を心配する声が多い割に、資産管理、重要書類管理への心配は少ない。これもどこかで「まだ、大丈夫」という思いがあるからなのかもしれない。

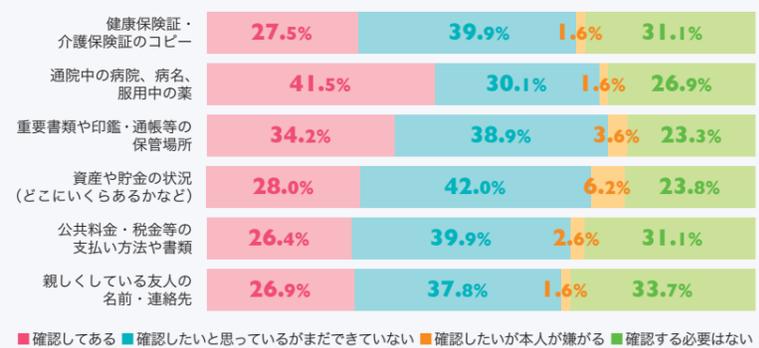
親のお金・資産の心配について、対策の有無



対策をしていない理由 (複数回答 n=154)



最も心配している親について、次の項目をどのようにしているか



まとめ

“備え”のための知識・情報の提供を

親の「身体・健康」「暮らし」「お金・資産」への心配に共通するのは、漠然とした不安があるものの先送りになってしまう“モラトリアム”状態。いざ、というときに慌てないために、また、深刻な事態を予防するためにも、“備え”のための知識・情報の提供が求められている。

親のお金・資産で心配なこと (複数回答)



親の老いへの不安～フリーアンサーから

- ・ずっと病気知らずで活動的な両親なので、いなくなってしまうことなど考えられない。そんなわけではないのだが、現実問題としてとらえられない、というか考えることを避けてしまっているのかもしれない。(49歳/千葉)
- ・まだ両親とも認知症ではないが、もしもそのうちにそうならどうすべきか。(51歳/兵庫)
- ・寝たきり、あるいは認知症を発症した時、経済を含めて介護をどうするかは、不安がある。(52歳/大阪)
- ・働いていると介護ができないので急に入院などしたときの公的補助がどの程度あるのかわかりたい。(47歳/大阪)
- ・誰がどのようにサポートするか、兄弟間でまったく話し合っていない。とくに夫の両親について。(51歳/神奈川)
- ・今後はやはり病気と認知症ですね。2人暮らしなのでいざという時に介護が心配です。夫の義母の面倒と重なったら大変かなと思います。(47歳/山形)
- ・離れているので、近くに帰るほうがいいのか…悩む。施設に入るのも経済的に大変だし、テレビでやっているように、ひどい施設も多いので不安。(51歳/東京)
- ・おかしかった時に、どのようにして確かめたいのか、どう接したらいいのか。(46歳/神奈川)